公募シンポジウムのご案内

第 37 回日本心肺補助学会学術集会では以下、3 個のシンポジウムを公募いたします。「テーマ」と「公募要旨」は以下の通りでございます。皆様のご応募、お待ちいたしております。

募集期間

2026 年 11 月 6 日（金）～2026 年 12 月 5 日（土）

応募資格・申請方法

日本心肺補助学会会員のであること。
申請は会員マイページの演題登録からご登録ください。

公募シンポジウム

公募シンポジウム1「心肺補助とハートチーム・コミュニケーション」

要旨）ECMO や人工心肺、Impella 等の心肺補助装置を用いる診療において、医師・技士・看護師等多職種の協調・コミュニケーションは非常に重要である。コミュニケーションを円滑にし、心理的安全性を確保するための施設あるいは地域での取り組みについて、問題点や成功例などを提示して議論する。

公募シンポジウム3「心肺補助の出口戦略」

要旨）MCS からの離脱基準（循環パラメーター、肺の評価など）は施設により様々である。重症症例での MCS 離脱基準、脳合併症症例等出口戦略に関する施設の方針や取り組みについて議論する。

公募シンポジウム4「心肺補助のピットフォール：ナイトメアケースから学ぶ」

要旨）ECMO や Impella 診療に関わる合併症症例を共有し、そこから学ぶことは、明日の診療の質を向上させるうえで非常に重要である。本セッションでは、合併症症例を持ち寄り診療の質改善につながる議論を行う。